

二十八日業二回業益降付委員會を開設するに第一萬餘を
 送るべきである。
 其の二十日商工大目、湖澤案相違日業降付委員會の
 臨時大幹、大陣、藤日、式日登各降付委員會の
 手出浪案四を以て討論し、その結果即ち委員會を
 組合對會通の不滿意の討論し同日平日
 の會議所より討論し、その結果即ち委員會を
 翌二十六日午前九時再會通を再開し、その結果
 申込を以て委員會の本意を以て討論し、その結果
 委員會を以て討論し、その結果即ち委員會を
 異の兩派の討論し、六月二十五日平日三回降付委員會
 西重の案を以て討論し、委員會を以て討論し、その結果
 業益降付委員會の善策を以て討論し、その結果

根拠人 討論會福岡出張所

財團 協調會福岡出張所

刷し全従業員に配布その反響に依つては更に演説會等を開
 き徹底的興隆の突起に努むべく準備せり。

2、日本製鐵従業員組合

戸畑支部に在りては六月二十八日緊急執行委員會を開催し
 たる結果對策委員五名を選任して本部最高幹部と協議善處
 する爲二十九日日本部正副會長を訪問する事に決定

三、折衝並解決狀況

會社側は組合の反對運動により寄々對策協議中の處六月二十
 九日午後一時日鐵従業員組合組合長濱橋文作外三名が代表と
 なり工場課長を訪問し物價騰貴の折柄善處方を懇請したるに
 對し工場課長より機械設備による女工の淘汰は止むを得ざる
 事情を説明し左の如き優偶案を示したる結果日鐵組合代表は
 之を諒として午後三時引揚げたのである。